

2016年 富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社環境レポート

FUJITSU I-NETWORK SYSTEMS LIMITED

Environmental Report



1. ごあいさつ

当社は、南アルプス、八ヶ岳、富士山を周囲三方に望む豊かな自然に囲まれた中に位置しております。

1960年、南アルプス市に山梨工場を開設以来、富士通グループのネットワークプロダクトの製造拠点として半世紀以上にわたり、迅速かつ高品質なものづくりをしてまいりました。

早くからトヨタ生産方式をベースとした生産革新運動に取り組み、お客様の信頼にお応えすべく、徹底したQCD追求をものづくりの視点とし日々改善に努めております。

節電にも積極的に取り組み、太陽光発電(50kW)、緑のカーテン、各種断熱処理、空調設備の立ち上げ分散稼働の運用等により、省エネとピーク電力削減に努めております。

地域貢献活動では、南アルプス市と共にユネスコエコパークの緩衝地域である楡形山に『山桜の森』を整備し環境保全活動を行っているほか、夜叉神峠の登山道整備にも協賛しております。

今後も環境保全活動や地域活動を通して社会貢献に努めてまいります。



代表取締役社長
中村 裕登

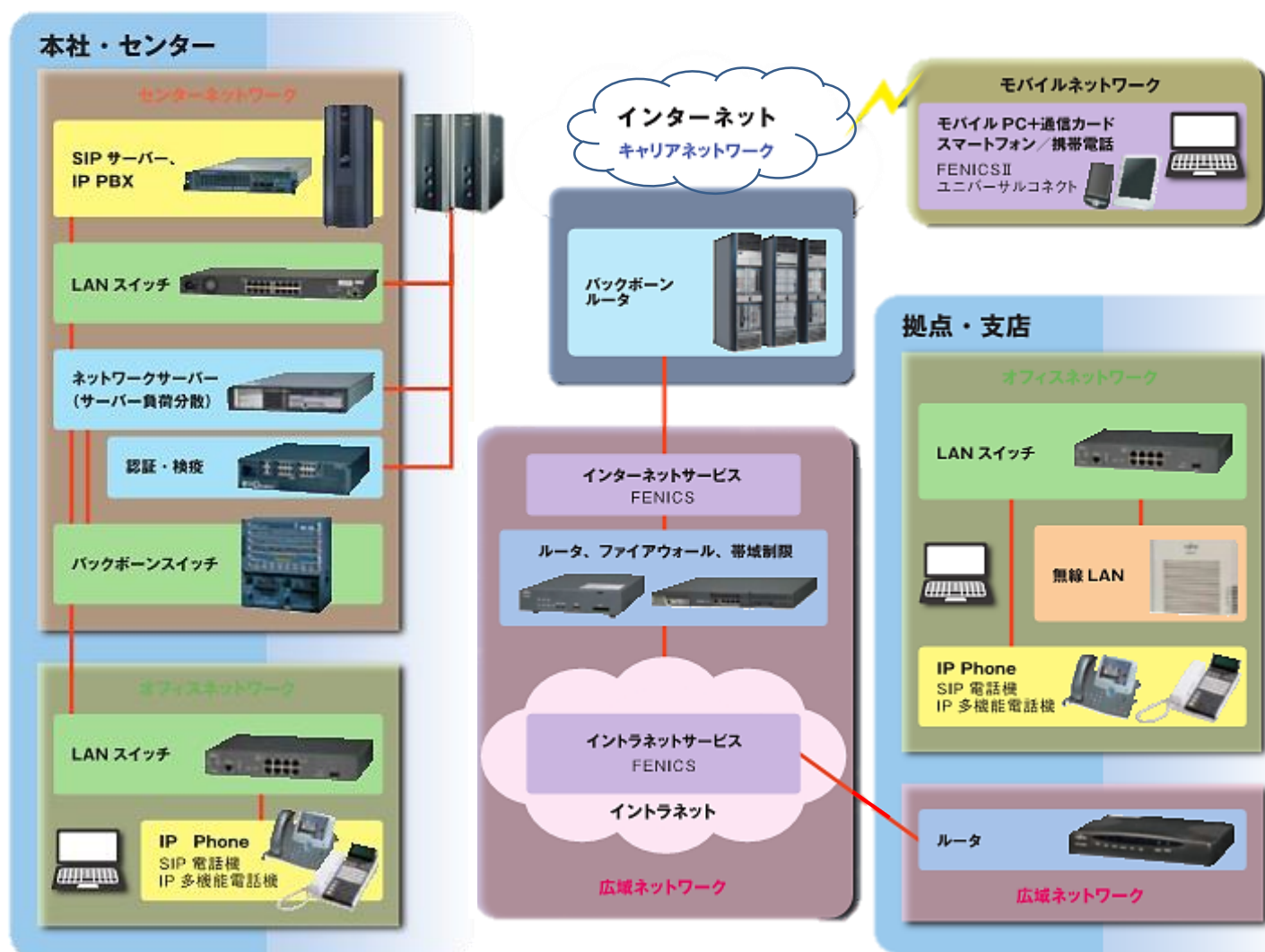
2. 事業所の紹介

■ 富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社

- 所在地 : 山梨県南アルプス市有野3346
- 設立 : 1943年10月18日 [株式会社長谷川電機製作所]
- 従業員数 : 380名(連結:440名)(2016年4月1日現在)



3. 主な取り扱い製品



4. 環境方針

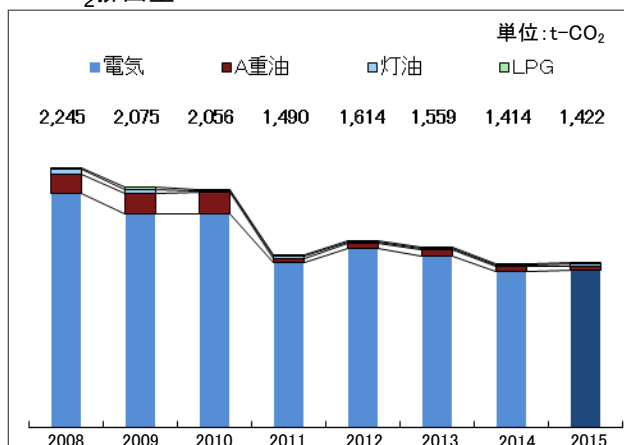
当社は、南アルプス、八ヶ岳、富士山を三方に望む自然豊かな南アルプス市に位置する企業として、環境保全が企業の重要課題であることを認識し、豊かな自然を次の世代に残すことが出来るよう、地球にやさしいよりよい企業活動を積極的に推進します。

■ 基本方針

1. 環境に与える影響を常に把握し、環境関連法、条令を順守します。さらに化学物質や廃棄物による汚染の予防や生物多様性保全を始めとした地球環境保全活動に努めます。
2. ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、環境により良い事業活動を推進するとともに、継続的な維持改善を実施します。
3. 温室効果ガス排出抑制計画チャレンジ事業者として、「山梨県地球温暖化対策条例」に基づいた取り組みを行います。
4. 第8期富士通グループ環境行動計画に基づく事項(i、ii)と独自事項(iii)について重点的に取り組みます。
 - i 温室効果ガス排出量の削減
 - ii 廃棄物発生量の抑制
 - iii 環境社会貢献/環境啓発活動の推進
5. 上記重点項目を具体的に推進するため環境目的・目標を設定し、組織的活動により達成を目指す取り組みおよび見直しを継続的に行います。
6. この方針は、教育・社内広報活動を通して当社内での業務に従事する全員に周知を行い、環境意識の高揚を図ります。

5. 環境負荷データの経年推移(主要な取り組み事例)

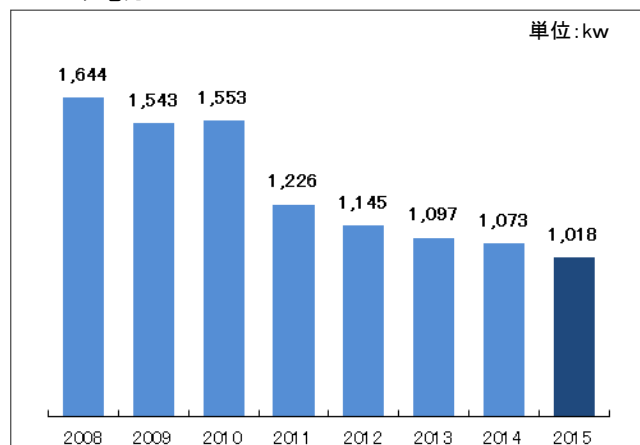
■ CO₂排出量



★ 節電対策

- ① 遮光シート取付(空調室外機/屋上/建屋南壁面)
- ② 遮熱系節電対策(屋根特殊シート/屋根散水)
- ③ 老朽化空調設備の更新
- ④ 空調効率化(室外機へ凝縮器取付/建屋間保温シート)
- ⑤ 太陽光発電・・・60,749kwh/2015年度発電量

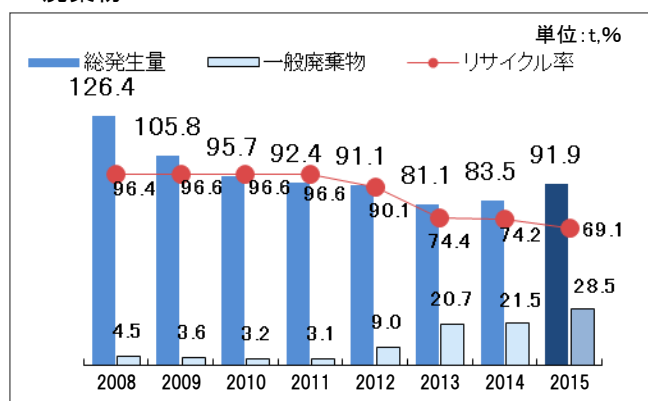
■ ピーク電力



★ ピーク電力低減への取り組み

- ① 空調機の集中コントロール化
 - ・空調機の立ち上げ分散稼働
 - ・建屋特異温度管理
- ② 空調管理巡回

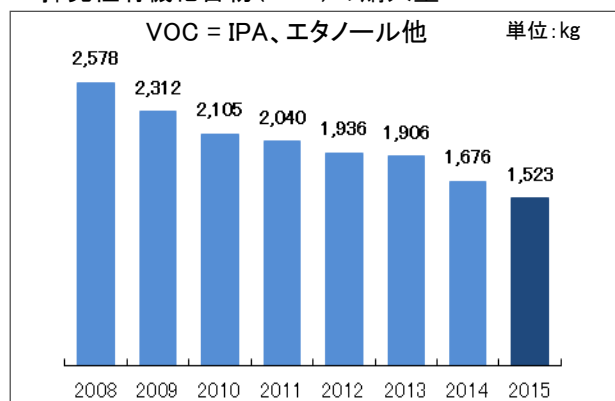
■ 廃棄物



★ 資源の再活用

- ① 有価物化の促進(分別の徹底、紙の有価物化)
 - ② 有価物化への取組推進(廃プラ・金属類)
- ※2014年度から一般廃棄物に7人槽の浄化槽汚泥を計上

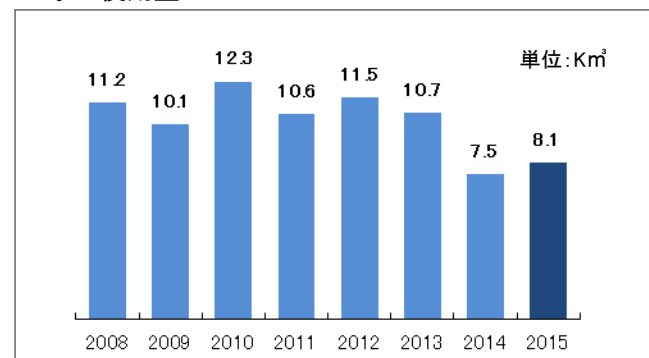
■ 揮発性有機化合物(VOC)の購入量



★ VOC削減の取り組み

- ① IPA使用管理表の作成
→異常値早期把握による改善推進
- ② 半田槽搬送チェーン洗浄IPA使用量の適正化
- ③ 基板洗浄液交換周期の改善
- ④ かんぱん方式での購入量管理

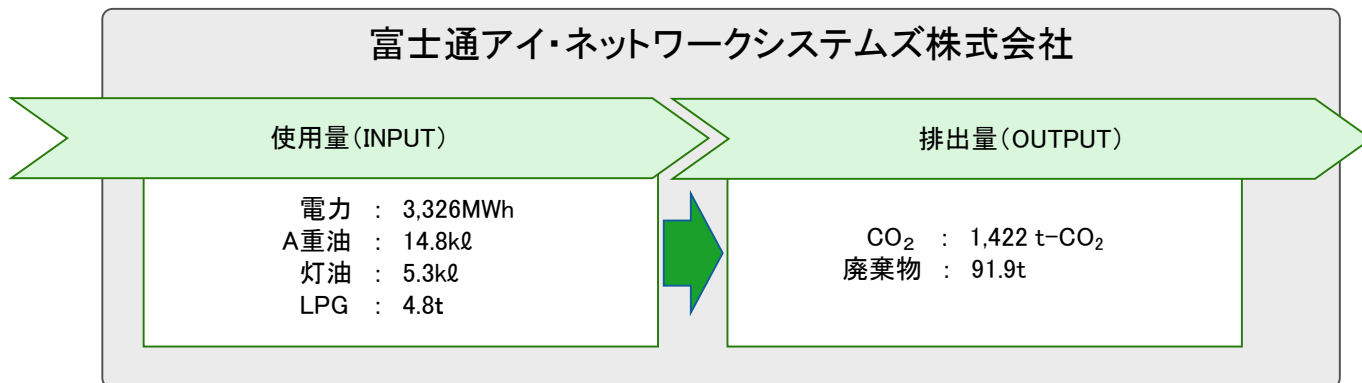
■ 水の使用量



★ 上水のムダ排除

- ① 一部の鉢植えの花に雨水を利用した散水実施
- ※工場用水は『0』、ほとんどが生活用水での使用

6. マテリアルバランス



7. 社会貢献活動

- 2013年に南アルプス市とグリーンパートナーズシップ協定を結び、協働の森として「南アルプス 山桜の森」を作り、下草刈りを中心とした活動を行っています。
 - ◇4月の活動日は、『山桜の森』に生息する山菜について学習・採集を行いました。『山桜の森』の山菜は学習用の採集しかできませんでしたが、下草刈り終了後には学習したばかりの山菜を味わう楽しい活動となりました。
 - ◇10月の活動は、「外来種、きのこ、虫」等を森の中で見つけながらの勉強会を行いました。背高のすすき等昨年とは少し違うタイプの植物や人より大きくなった山桜など、森の成長がみられる中での下草刈りとなりました。
- 2012年度に始めた夜叉神峠の登山道整備活動への参加は4年目を迎えました。資材・道具の荷揚げもあり、体力的には厳しい活動でもありますが、丸太ステップの作り方などを習得する事もでき、充実したボランティア活動になりました。
- クリスマスには、クリスマスイベントを開催し、定時終了後に近隣の方々をはじめとした多くの方に参加して頂きました。
 - ◇今年は新しい試みとしてレーザーライトを使用し、動く光の絵に子供たちの楽しんでる姿を見ることが出来ました。



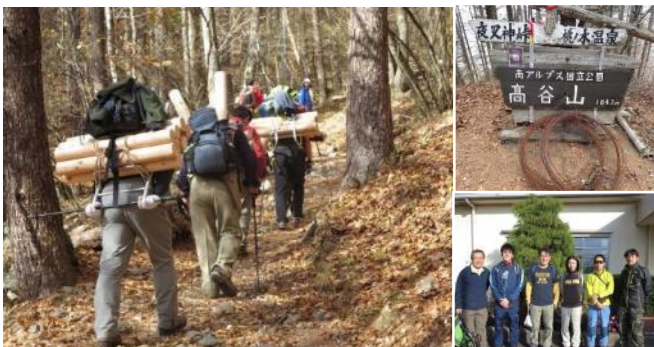
4/25(土)『下草刈り&山菜天ぷらの会』
参加者: 41名



10/31(土)『下草刈りと自然観察会』
参加者: 33名

★南アルプス山桜の森

- ・南アルプス市 楡形山 高尾地内苗畑地区 森全体面積: 4.3ヘクタール
- ・ヤマザクラ、モミジ



11/7(土)夜叉神峠登山道整備活動への参加
参加者: 6名 (雨天により一日のみの活動)



12月21・22・24日クリスマスイベント(地域の方ご招待)開催
イベント来場者: 約100名 (お子様プレゼント)

8. エコキャップ運動と、緑の募金

- 2010年度から本格的にスタートした当運動も6年目となりました(組合協賛)。自動販売機の近くにエコキャップ回収BOX(7か所)を設置し、6回/年の回収を行い、まとめたキャップは夏に業者へ回収依頼を行い引き取りに来てもらいます。本年度から送付先を『国土興産株式会社』へ変更し、加工売却金の一部を『JCV&ユニセフ』に届ける形に変更しました。『世界の子供たちのために』という趣旨は変わりません。
2015年7月16日にエコキャップの引き渡しを完了しました。
- 緑の募金は、2013年度より会社寄付から従業員募金への切り替えを行い、秋の緑の募金週間にあたる10月の10日間を募金期間として広く募金を呼びかけました。募金箱をお借りした『公益財団法人山梨県緑化推進機構』様に11月6日に募金の振込を行いました。



エコキャップ収集場所
ポスターと回収ボックス



緑の募金箱
10/13~10/23 設置

★成果【エコキャップ運動】

・提供数・・・ 32.3千個(約75.0kg) ・CO₂ 抑制・・・ 236.2kg-CO₂ ・ポリオワクチン・・・ 37人分

★成果【緑の募金】

・募金額・・・ 23,220円

9. 環境月間

- 環境月間の活動の一環として環境講演会『みんなちがって、みんないい -私たちの生活と生物多様性-』を開催しました。生物多様性とは・・・「みんなちがって、みんないい」「個」を大切にするという事だと教えていただきました。生物多様性と私たちの生活、グリーンインフラについて勉強しました。【講師：山梨県富士山科学研究所 農学博士 菊池佐智子様】



守衛所北側

2014年度から『環境月間』を知ってほしい！とはじめたポスター、垂幕の掲示です。個人用リボンの着用もあり、6月の1か月間、皆で環境を意識しましょう。



環境講演会【6月25日】

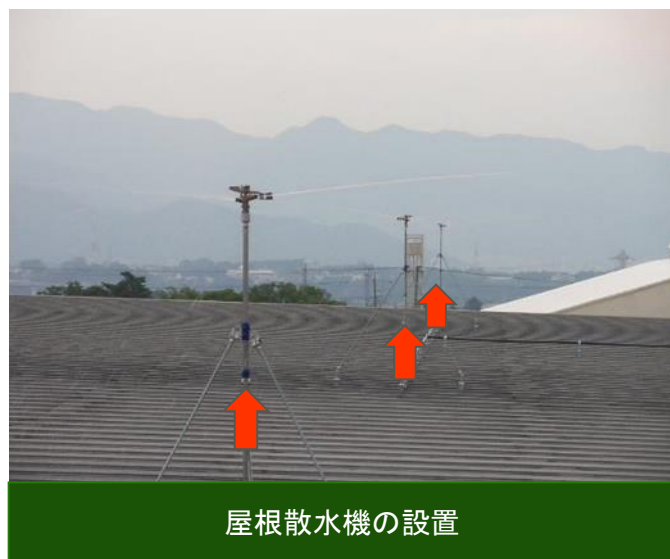
『外来種の駆除』『植林』『生物調査』『ゴミ拾い』『地産地消』『ガーデニング』『雨水の利用』etc.こんなことも生物多様性保全の活動なんだと知ることが出来ました。

10. 節電対策

■ 本年度は、前年以前からの継続的施策に加え、新たな数多くの節電対策を実施しました。

- 太陽光発電(2011年10月～)
- 空調室外機遮光シート設置
- ロール式遮光シート設置
- 建屋遮光シート更新
- 老朽化空調設備の更新
- 屋根散水機設置
- 空調機の集中コントロールによるピーク電力のシフト(夏/冬)
- 天井設置・断熱材敷設
- シートシャッター開閉高さ制限
- 保温用ビニールカーテン設置
- 屋根特殊シートの設置(新)
- 室外機への外付け式凝縮器の取付(新)

- 緑のカーテンは2010年度にスタートし、今年で6年目となります。
- 今年は、例年の西1・2号棟の範囲に加え、北1号棟西側でもチャレンジを開始しました。
- 西洋アサガオを中心に、ヘチマ、ヒョウタン、野菜等を育てました。



11. 環境に関わる法規制の順守状況

法改正の速やかな把握により自社の事業活動に関わる法規制を確実に維持管理しています。
また、法規制に基づく所轄官庁への報告等の実施等、法規制を確実に順守しています。

- 地下水／土壌対策

- 地下水：2015年4月8日と10月6日・11月20日に地下水モニタリングを実施し、規制基準を順守していることを確認しています。

物質名	地下水基準(mg/L)	2015年度内最大測定値	結果
1.1-ジクロロエチレン	0.1以下	0.001未満	○
シス-1.2-ジクロロエチレン	0.04以下	0.001未満	○
1.1.1-トリクロロエタン	1以下	0.004	○
トリクロロエチレン	0.01以下	0.001	○

- 土壌：VOC、重金属の汚染を確認、拡散防止対策実施済

- 騒音および振動の測定

騒音及び振動の測定を敷地境界において2015年7月31日に実施し、規制基準を順守していることを確認しています。

年月日	区分		自主基準値	山梨県条例値	2015年度内最大測定値	結果
2015.07.31	騒音	朝	53	55	48	○
		昼	57	60	48	○
		夕	53	55	46	○
		夜	45	45	43	○
	振動	昼	55	60	30未満	○
		夜	50	55	30未満	○

12. 環境活動の目標と実績

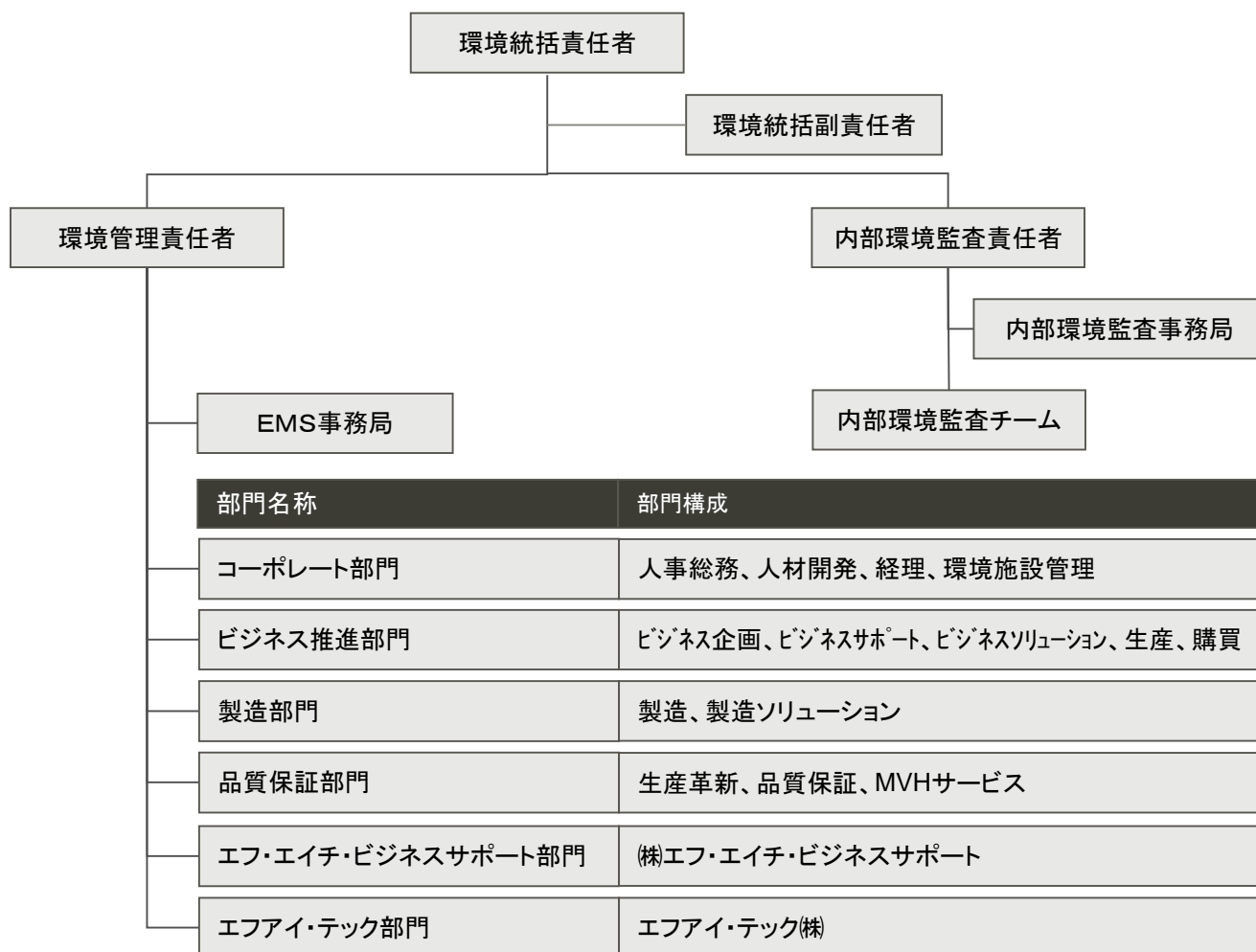
- 2015年度の活動目標と結果報告

	環境目標項目	目標値	実績値	結果
1	環境に限定しない幅広い社会貢献活動を推進する	4件	6件	◎
2	エネルギー消費CO2(電力+重油+灯油+LPG)の使用量をCO2換算で2014年度実績比1.0%削減する <<1,414t-CO2→1,400t-CO2>>	1,400 t-CO ₂	1,422 t-CO ₂	○
3	CO2 排出量抑制／削減の取組みを実施する取引先からの調達を推進する(年度末迄で100%達成を目標) なお、対象は商社を除く部材系調達額上位99%+その他各領域の調達額上位90%の取引先とする(40社)	100%	100%	◎
4	重点物質(IPA含有)の購入量を2012～2014年度実績の平均以下とする(維持) <<2009～2011年度実績→1,834.0kg>>	1,834kg	1,523 kg	◎
5	廃棄物の排出量は2012～2014年度実績(下水道化の浄化槽汚泥は除く)の平均以下に抑制する(維持)	100t	92t	◎
6	環境に関わる活動を実施する	2件	2件	◎

※◎については、増産対応の工場操業時間延長による電力使用量の増加が要因

13. 環境活動に対する対象組織

■ 組織構成は3社、派遣を含む472名(2016.4.1時点)となっており、活動体制は下図の通りです。



お問い合わせ先

富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社

環境施設管理部
 〒400-0226 山梨県南アルプス市有野3346
 TEL: 055-285-0383 FAX: 055-285-0314

発行責任者 中村 裕登
 編集責任者 山口 純司
 発行年月日 2016年6月7日
 記載事項対象期間 2015年4月～2016年3月
 報告URL: <http://www.fujitsu.com/jp/finet/>



いつも地球を見守っている